

報道関係各位

2023年12月13日
株式会社インテージリアルワールド

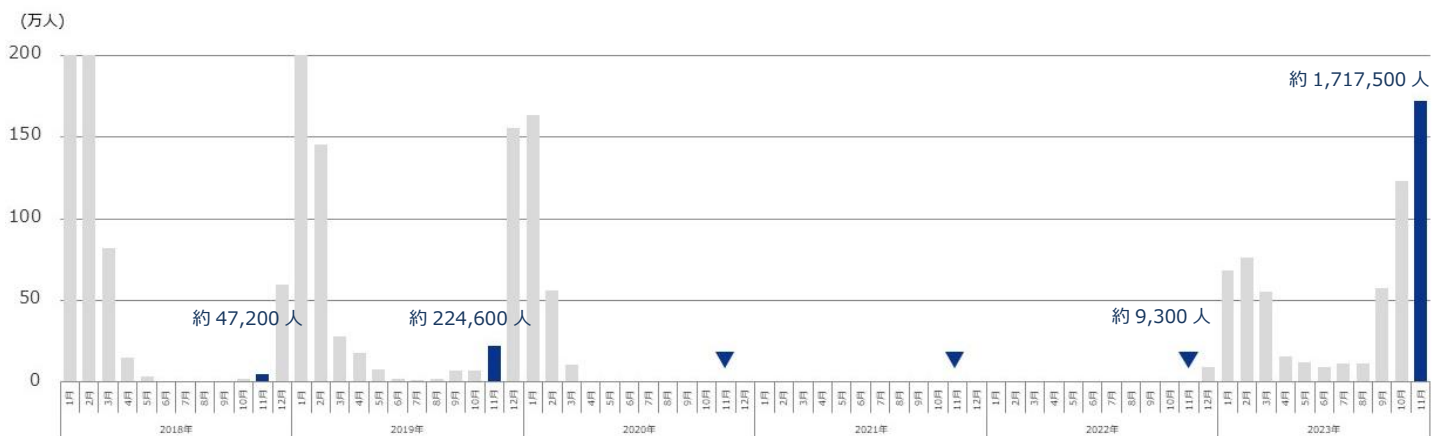
11月のインフルエンザ治療薬処方患者数は約172万人 コロナ前2019年の約8倍と高水準で推移

医療情報分析サービスを手がける株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章）は、独自に運用する統合医療データベース Cross Fact の2023年11月データを基に、医療用医薬品の処方動向を調査・分析しました。

インフルエンザ 2023/2024 シーズンの患者数は9月約57万人、10月約123万人と例年よりも早いスピードで流行の拡大が進んでいました。例年であれば10月は流行シーズンの入り口で患者数は10万人に満たず、12月頃に本格的な流行シーズンに入っていくことが多いのですが、今年患者数はどこまで増えていくのでしょうか。今月も先月に続きインフルエンザについて治療薬の処方状況を追っていきます。

2023年11月の経口インフルエンザ治療薬の推計処方患者数は約1,717,500人と、前年同月比185倍(2022年11月約9,300人)になりました。2019/2020シーズンのピーク時(2020年1月)患者数は約163万人であり、11月時点でこの数字を超えたこととなります。2016年以降、最も患者数が多かったのは2019年1月の約469万人となりますが、今後どこまで患者数が増えるのか大変気になるところです。

■インフルエンザ治療薬 推計処方患者数推移（2018年1月以降）

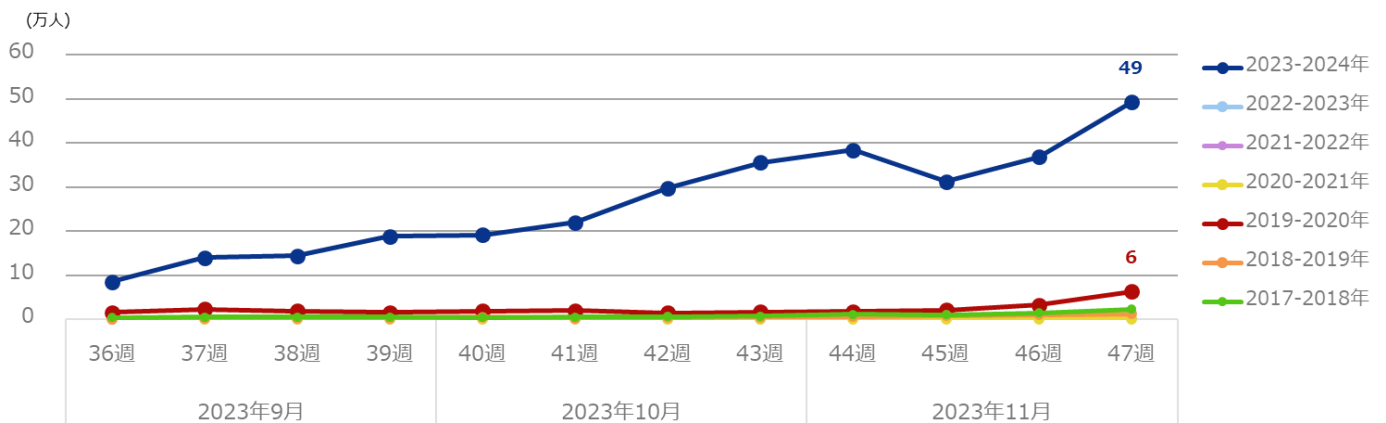


出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、バロキサビルを処方された患者を対象として分析

続いてインフルエンザ治療薬処方患者数を週次で見てみます。今シーズンは9月以降患者数が伸び続け44週時点で約38万人となりました。その後、45週に一度患者数が減少いたしましたが再び増加し、11月最終週の47週時点でのインフルエンザ患者数は約49万人となりました。この数字は例年と比較し患者数の増加が早かった2019/2020シーズンの同週比約8倍となり、異例の患者数であることが分かります。本格的な流行シーズンである12月の週次患者数はどこまで増えるのでしょうか。

■インフルエンザ治療薬 週別推計処方患者数



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析

同時流行が懸念されていた新型コロナウイルスは今のところ落ち着いているようですが、インフルエンザは流行期に入り約4年ぶりの患者数となっています。インフルエンザ罹患時に良く処方される鎮咳剤や去痰剤の在庫逼迫[※]やその他感染症の流行も見られており、感染症関連薬剤が今後どのような動きを示すか要注目です。

インテージリアルワールドでは今後も感染症の動きを医療用医薬品の「処方」で捉え、発信して参ります。

※厚生労働省「鎮咳薬（咳止め）・去痰薬の在庫逼迫に伴う協力依頼」

<https://www.mhlw.go.jp/content/001151689.pdf> (2023.09.29 参照)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテージリアルワールド ソリューション企画部 鹿島田

Eメール: pr-irw@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

株式会社インテージリアルワールドは、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020 年 7 月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファストブランドを目指します。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>